

R3. 7. 8 議員定数問題等調査特別委員会

森田議長	<p>それぞれ大変お忙しい中、お集まりいただきました。本日は組織の委員会でございますので、私から招集をさせていただきました。</p> <p>次の統一地方選挙まで、後1年9か月。皆様には、令和2年に実施された国勢調査の結果を踏まえて、議員定数や選挙区といった議会制度の根幹をなす事項を決めていただくこととなります。</p> <p>仮に、周知期間を1年間と考えますと、実質的な審議の時間はわずか9か月となります。過去の特別委員会と比較しましても、非常に厳しい日程になるとは存じますが、その中でもそれぞれの視点で活発な議論を尽くしていただきまして、十分な成果を上げられますことを期待しております。</p> <p>大変御苦勞をおかけすることとなりますが、どうぞよろしくお願いを申し上げます。御挨拶とさせていただきます。</p> <p>(担当書記挨拶)</p>
書記	<p>本日は初めての委員会でございますので、委員長が互選されるまでの間、委員会条例第7条第2項の規定に基づきまして、その職務を年長の黒岩委員さんをお願いいたします。</p>
	<p>1. 委員長の互選について</p>
黒岩年長委員	<p>それでは、年長である故をもって、私が暫時の間、議事を進めさせていただきます。よろしくお願いいたします。</p> <p>ただいまから、議員定数問題等調査特別委員会を開きます。</p> <p>お手元の協議事項の順に進めてまいりたいので、御協力願います。</p> <p>直ちに、委員長の互選を行います。</p> <p>互選の方法は、いかがいたしましょうか。</p> <p>(「指名推薦で」との発言あり)</p>
黒岩年長委員	<p>指名推薦でという発言がありましたので、委員長の互選の方法につきましては指名推薦によりたいと存じますが、これに御異議ありませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
黒岩年長委員	<p>御異議ないものと認めます。</p> <p>よって、さよう決しました。</p> <p>どなたか推薦がございましたら、お願いいたします。</p>
西内健委員	<p>弘田兼一さんを推薦します。</p>
黒岩年長委員	<p>弘田兼一君に委員長をとのことですが、これに御異議ありませんか。</p> <p>(異議なし)</p>
黒岩年長委員	<p>御異議ないものと認めます。</p> <p>よって、ただいま指名されました弘田兼一君が委員長に当選されました。</p>

ただいま委員長に当選されました弘田兼一君に、本席から告知をいたします。
ここで、委員長の就任の御挨拶があります。

弘田委員長

ただいま指名をいただきました、弘田でございます。ありがとうございます。
この特別委員会は、県議会を構成するそれぞれの会派全員が参加をされているということでもあります。各会派によって、政治の目的とかいろいろ違うところがあるんですけど、高知県の幸せのため、あるいは高知県勢浮揚のため、この部分については全ての会派が一致するのではないかと思います。
先ほど議長からも挨拶がありましたように、短い期間ではありますが議論をきちんと尽くして、いい結果を導き出したいと考えておりますので、よろしく願いいたします。御挨拶いたします。
ありがとうございました。

黒岩年長委員

以上で、私の役目である委員長の互選は終わりました。
御協力ありがとうございました。

2. 副委員長の互選について

弘田委員長

これより、副委員長の互選を行います。
互選の方法は、いかがいたしましょうか。

(「指名推薦で」との発言あり)

弘田委員長

指名にせよという発言がありますので、互選の方法は指名推薦によることといたします。
お諮りいたします。
指名の方法については、委員長である私が指名することにいたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

(異議なし)

弘田委員長

御異議ないものと認めます。
よって、私が指名することといたします。
副委員長に、大野辰哉君を指名いたします。
お諮りいたします。
ただいま指名いたしました大野辰哉君を副委員長の当選人と定めることに、御異議ありませんか。

(異議なし)

弘田委員長

御異議ないものと認めます。
よって、ただいま指名いたしました大野辰哉君が副委員長に当選されました。
ただいま副委員長に当選されました大野辰哉君に、本席から告知をいたします。
ここで、副委員長の就任の御挨拶があります。

大野副委員長

ただいま委員長に御指名をいただき、副委員長を務めさせていただくこととなり

ました大野辰哉です。どうぞよろしくお願ひいたします。

議長からもお話がありましたとおり、この特別委員会は選挙制度の根幹に関わる大変重要な委員会であり、その責任の重さに身の引き締まる思いであります。私自身は大変微力ではありますが、識見、経験豊富な弘田委員長のものと御指導いただきながら、円滑な委員会の運営に努めてまいりたいと思っておりますので、委員の皆様方、事務局の皆様方の御協力をどうかよろしくお願ひします。

本日はありがとうございました。

3. 委員席の指定について

弘田委員長

次に、委員席を決定いたしたいと存じます。

ただいま御着席されております席を順にお詰めいただき、そのお詰めいただいた席を委員席に指定いたしたいと存じますが、御異議ありませんか。

(異議なし)

弘田委員長

それでは、さよう決めます。

(事務局、名札を置く)

4. 次回の協議について

弘田委員長

次に、次回の協議についてであります。

まず、次回の協議事項につきましては、初めての委員会でありますので、選挙管理委員会から公職選挙法の関係規程等について説明を受けた後、今後の委員会の進め方等について御協議願ひたいと存じますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

弘田委員長

それでは、さよう決めます。

なお、平成29年6月定例会に提出された議員定数問題等調査特別委員会報告書をお手元にお配りしてありますので、参考に願ひます。

次に、次回の委員会開催日についてであります。

お手元に、議員定数等の調査検討に係るスケジュール案と、7月から9月までの予定表をお配りいたしてありますので、この表を参考にしながら次回の開催日を決めておきたいと存じます。

第1候補として、7月29日木曜日はいかがでしょうか。

黒岩委員

私は予定があります。

弘田委員長

第2候補は7月28日なんですが。

黒岩委員

その日は大丈夫です。

金岡委員

その日は都合が悪いです。

弘田委員長

選管の都合も聞いておりますので、次回の開催については再度調整するというこ

とで、引き取らせてもらって構いませんか。

梶原委員 再度調整していただいて、その上であくまで特別委員会の公務でありますので、皆さんいろいろ御都合もあろうかと思いますが、できるだけこちらを優先して調整していただけたらと思います。

弘田委員長 梶原委員から、そういった御意見がありましたので、そのようにさせていただいて構いませんか。

(「はい」との発言あり)

弘田委員長 それでは、委員長、副委員長で調整しまして、日程については皆さんにお示しするというにいたしたいと思います。

塚地委員 確認ですが、28日か29日で調整するということですか。

弘田委員長 選管も第一候補、第二候補があるかもしれませんので、そこの辺りは少し調整をさせていただきます。

塚地委員 お任せします。

弘田委員長 それでは、次回以降の委員会の開催場所についてであります。
今回は、都合により第1委員会室を開催場所といたしましたが、次回以降の開催場所は第2委員会室といたしますので、御了承願います。

(了 承)

5. 説明者の出席要請について

弘田委員長 次に、説明者の出席要請についてであります。
今後、選挙管理委員会事務局の職員の出席については、必要の都度要請すること
にいたしたいと存じますが、いかがでしょうか。

(異議なし)

弘田委員長 それでは、さよう決めます。

6. その他

弘田委員長 最後に、その他で何かございませんか。

(な し)

弘田委員長 協議事項は以上であります。
これで、本日の議員定数問題等調査特別委員会を終わります。